

心臓リハビリテーション



心臓リハビリテーションチームでは、主に循環器内科、心臓血管外科に入院された患者さんを対象として活動しています。

施設基準：心大血管リハビリテーション I

対象疾患：急性心筋梗塞，狭心症，開心術後，大動脈解離，解離性大動脈瘤，大血管術後，慢性心不全，末梢動脈閉塞性疾患，など

心臓リハビリテーションとは

患者さんの体力や不安・抑うつ状態を改善し，社会復帰を実現し，病気の進行を防ぎ，再発・再入院を減らすことを目的として行われるプログラムです。

関わる職種による包括的リハビリテーション

自分の病気を知ることから始まり，患者さん個々に応じ様々な指導を行います。他職種が密に連携し，患者さんに対して包括的なリハビリテーションを提供します。

関わる職種

循環器内科医師，心臓血管外科医師，リハビリテーション科医師，看護師，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，栄養士，薬剤師，臨床心理士，ソーシャルワーカー など

心肺運動負荷試験(CPX)の導入

当院では，心肺運動負荷試験(CPX)が導入されており，より安全性の高いリハビリテーション指導を行っています。心臓病であってもある程度の活動は許容されます。二次予防のための運動指導だけではなく，職業や趣味活動などに対しても積極的にアプローチをしていきます。



急性期から終末期まで

入院後，手術後の急性期より，心臓リハビリテーションの介入は始まります。過剰な安静を避け身体機能の低下を最小限に抑えるために介入を開始します。また，心不全は再発を繰り返して，徐々に身体機能が低下していきます。徐々に病状が進行していく中で，生じると予測される問題や不安にも対処します。

